

日本経済 三つの誤りをただす

大和総研顧問、東京財団上席研究員

原田 泰

- *野田政権の目指すもの
- *金融緩和しないから円高に
- *日本の金融政策も韓流で
- *復興増税はナンセンス
- *阪神・淡路、奥尻島の教訓
- *旧市街地に人口を戻せ
- *個人におカネを渡すのも一法
- *火力発電所の復活で切り抜けよ
- *本当に原発の発電コストは低いのか
- *自由化で電力価格は安くなる



浅野 開会いたします。（拍手）今日はおなじみの原田泰さんにおいていただきました。原田さんのお話は、いわゆる一般の通説と違うところがたいへん興味深くて、ここまで言っているのかというぐらい思い切ったことをおっしゃっていますので、今日もそれを楽しみにしたいと思います。

原田さんには経済倶楽部の理事をお願いしています。経済倶楽部の財政状況が芳しくないことを、理事会で縷々報告しています。したがって、今日は本来、原田さんにお渡しすべき講演料よりぐっとお安くお願いしています。（笑）しかし、内容については安心してお聞きください。では、原田さん、よろしくお願ひします。（拍手）

原田 東京財団の原田です。よろしくお願ひします。「日本経済 三つの誤りをただす」とタイトルがありますが、最初に、野田新政権の政策形成というところをお話したいと思います。これは三つのうちに入っておりませんので、番号としてはゼロ番ということになります。

野田政権の目指すもの

野田政権になって、何が変わるのか。鳩山政権、菅政権の失敗を認識して、今までのやり方ではない違う方法でやろうと誰でも考えます。野田さんもそういうふうを考えて、結局、「自民党になろう」と考えているのではないか。集票団体や族議員、族議員に連なっている官僚、そういうものが復活してもいいと思っっているの